

しまばら再発見
シリーズ 21

3月3日～10日に開催されます 伝統の島原初市

島原の初市は、江戸時代初期の1618年、島原藩主松倉重政が島原城を築城した際、大手門前の広場で、物々交換の「市」を開いたのが始まりと言われています。

大正や昭和の時代に入ると、各種出店のほかに見世物や人形芝居、サーカスまで行われていました。現在は、霊丘公園グラウンドを会場に、植木や金物、食べ物などの出店のほかにもステージイベントなどが企画され、島原の春の風物詩となっています。

江戸時代から続く伝統の初市に出かけて、島原の春の訪れを感じてみませんか。

目次

- ごみ収集体制が変わります…………… 2
- 乳幼児福祉医療費助成制度が変わります… 4
- 国保税の税率とモデルケース…………… 5
- 指定学校変更と区域外就学について… 6
- 世界に羽ばたく島原半島ジオパーク… 7
- まちかどウォッチング…………… 8
- 保健センターだより…………… 10
- 公民館こうざじょうほう…………… 12
- ふるさと再発見ほか…………… 13
- ぐらしの情報…………… 14

